

2016年7月29日

新ファンド設定のお知らせ

「リスク水準と期待リターンを合わせて選ぶ」 あおぞら・しずくシリーズ

「あおぞら・先進国中短期公社債ファンド（為替ヘッジあり）」 愛称 海のしずく

「あおぞら・先進国バランス・ファンド（為替ヘッジあり）」 愛称 森のしずく

「あおぞら・グローバル・バランス・ファンド（部分為替ヘッジあり）」 愛称 星のしずく

株式会社あおぞら銀行(代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：馬場 信輔、本店:東京都千代田区)の運用子会社である、あおぞら投信株式会社(代表取締役社長：柳谷 俊郎、本店:東京都千代田区、以下「あおぞら投信」)は7月29日にファンドを新たに設定しました。

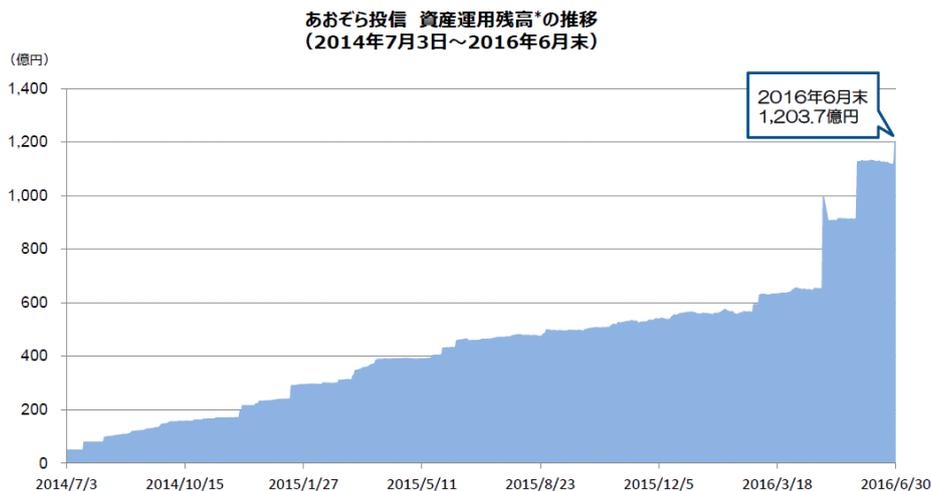
販売会社は、株式会社あおぞら銀行および株式会社SBI証券2社となります。また、2016年8月12日より楽天証券が加わる予定です。

「あおぞら・しずくシリーズ」は、投資家の皆さまがリスク水準と期待リターンを合わせて考え、3つのタイプのファンドから選択いただける仕組みとしています。あらかじめリスクがどの程度あるのかを理解していただいた上で投資計画を立てていただきたいという思いを商品化したものです。

ファンドコンセプト	期待リターン	推計リスク	年間最大変動率の目安
“海のしずく” 債券ファンドで堅実なリターン獲得を目指す方へ	1%	3.3%	±6.6%
“森のしずく” 債券ファンドより相対的に高いリターン獲得を目指す方へ	3%	5.8%	±11.6%
“星のしずく” グローバル・バランス投資でより高いリターン獲得を目指す方へ	5%	11.7%	±23.4%

※上記期待リターンおよび推計リスクは年率で表記しています。

あおぞら投信は、あおぞら銀行グループの資産運用会社として2014年2月に設立され、公募投信12本を含む受託純資産総額は私募・公募投信合計で1,203.7億円（2016年6月末時点）となっております。個人の皆さまの大切なご資産を守り育てていくこと、また、金融機関の皆さまの経営にとって重要な資産運用業務に関するお手伝いの役割を果たすことにより、お客さまのご要望にお応えすることを使命としております。



出所：あおぞら投信 *公募投資信託と私募投資信託の合計額

また、引き続き世界の変化を的確に捉えつつ、国内外の株式市場、債券市場など、あらゆる資産の中から、お客さまの中長期的なご運用にもっとも相応しい商品のご提供を行い、これからもお客さまの資産運用に際して、未長くお付き合いいただける運用会社でありますよう、信頼される投信商品と活きた情報のご提供に継続して取り組んでまいります。

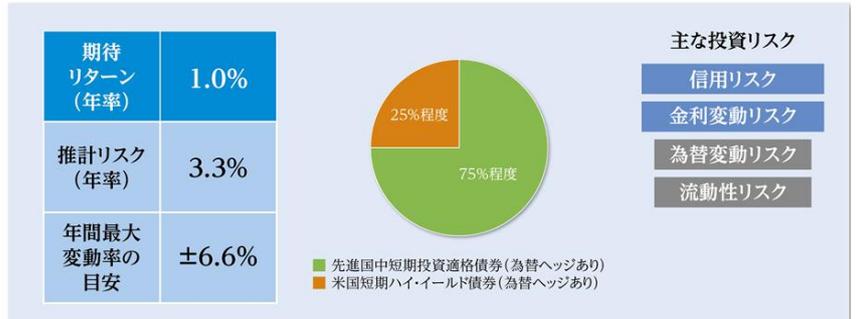
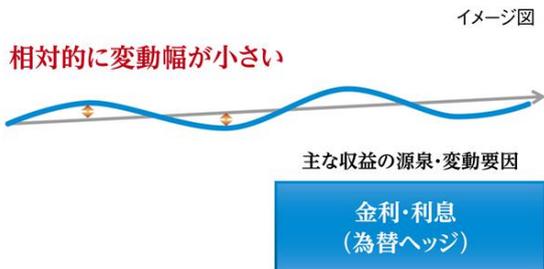
詳細は当社 WEB サイトをご確認ください。<http://www.aozora-im.co.jp/>

ご参考 あおぞら・しずくシリーズのコンセプト

～債券ファンドで堅実なリターン獲得を目指す方へ～

「あおぞら・先進国中短期公社債ファンド（為替ヘッジあり）」 愛称 海のしずく 追加型投信/内外/債券

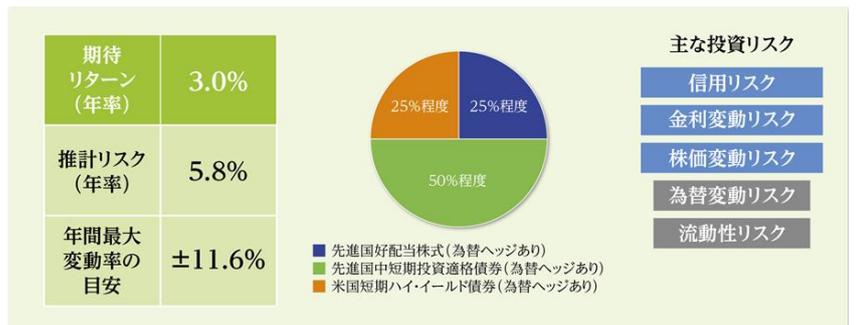
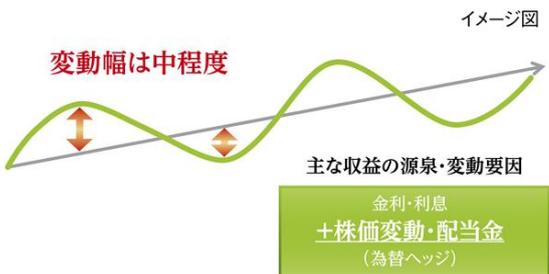
残存期間が短く、平均格付が投資適格以上の先進国の中短期公社債に為替をヘッジした上で投資することで、安定的に円建公社債よりも高い利回りの獲得を目指します。



～債券ファンドより相対的に高いリターン獲得を目指す方へ～

「あおぞら・先進国バランス・ファンド（為替ヘッジあり）」 愛称 森のしずく 追加型投信/内外/資産複合

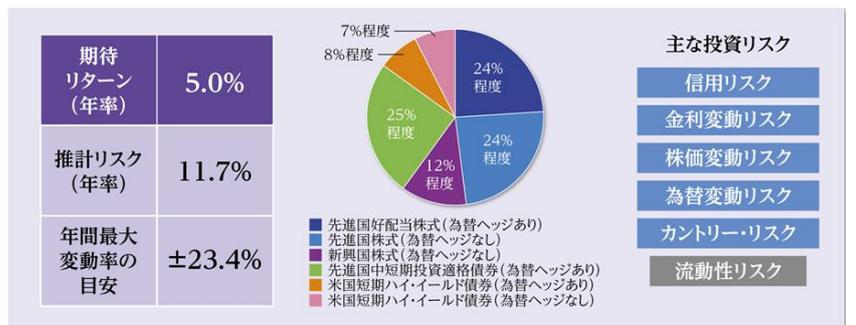
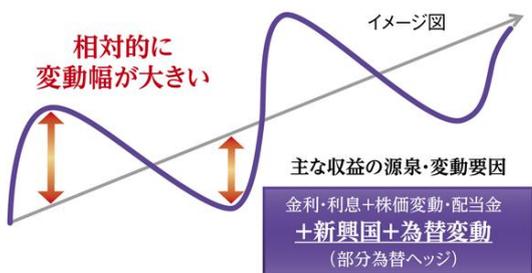
平均で投資適格以上の先進国の中短期公社債（為替ヘッジあり）に、リスク・リターン特性に優れる先進国好配当株式（為替ヘッジあり）を加えることで、リスクを抑えながらリターンを追求します。



～グローバル・バランス投資でより高いリターン獲得を目指す方へ～

「あおぞら・グローバル・バランス・ファンド（部分為替ヘッジあり）」 愛称 星のしずく 追加型投信/内外/資産複合

先進国バランス・ファンド（為替ヘッジあり）の投資対象資産に、新興国を含むグローバル株式や短期ハイ・イールド債券（為替ヘッジなし）を加え、より高いリターンを追求します。



上記図表は全てを説明しているものではありません。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」および目論見書補完書面をご覧ください。また「本ファンドに関する留意事項」および「本資料のご利用にあたっての留意事項等」を必ずご覧ください。

■ファンドの特色 ※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」および目論見書補完書面をご覧ください。

「あおぞら・先進国中短期公社債ファンド（為替ヘッジあり）」 愛称 海のしずく

1. 投資信託証券への投資を通じて、先進国の中短期公社債に投資します。

・複数の投資信託証券を通じて、主として、実質的な償還までの期間が5年以下の先進国の公社債に投資します。また、ポートフォリオの平均デュレーション^{*1}は3年以下となるようにコントロールを行い、金利変動リスクの低減を図ります。

*1 デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い（短い）ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく（小さく）なります。

2. ポートフォリオの平均格付は投資適格を維持することを基本とします。

・投資する公社債の平均信用格付は原則として投資適格（BBB－格）以上を維持^{*2}することを基本とし、信用リスクの低減を図ります。

*2 投資する公社債には、一部短期ハイ・イールド債券を含みます。

3. 為替ヘッジを行い、為替リスクの低減を図ります。

・投資信託証券において原則として対円での為替ヘッジを行います。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

「あおぞら・先進国バランス・ファンド（為替ヘッジあり）」 愛称 森のしずく

1. 投資信託証券への投資（上場投資信託証券（ETF）を含みます。）を通じて、先進国の中短期公社債および先進国の好配当株式に分散投資します。

・債券部分の投資にあたっては、実質的な償還までの期間が5年以下の先進国の公社債に投資します。また、ポートフォリオの平均デュレーション^{*1}は3年以下となるようにコントロールを行い、金利変動リスクの低減を図ります。

・株式部分の投資にあたっては、先進国の相対的に配当利回りが高い銘柄の中から収益性、成長性を考慮して投資を行います。

*1 デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い（短い）ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく（小さく）なります。

2. 債券部分の平均格付は投資適格を維持することを基本とします。

・投資する公社債の平均信用格付は原則として投資適格（BBB－格）以上を維持^{*2}することを基本とし、信用リスクの低減を図ります。

*2 投資する公社債には、一部短期ハイ・イールド債券を含みます。

3. 為替ヘッジを行い、為替リスクの低減を図ります。

・原則として対円での為替ヘッジを行います。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

「あおぞら・グローバル・バランス・ファンド（部分為替ヘッジあり）」 愛称 星のしずく

1. 投資信託証券への投資（上場投資信託証券（ETF）を含みます。）を通じて、先進国の中短期公社債および新興国を含む世界の株式に幅広く分散投資します。

・株式部分の投資にあたっては、先進国の相対的に配当利回りが高い銘柄および新興国を含む世界の株式に幅広く分散投資を行う事で、リスク分散と収益の獲得を目指します。

・債券部分の投資にあたっては、実質的な償還までの期間が5年以下の先進国の公社債に投資します。また、ポートフォリオの平均デュレーション^{*1}は3年以下となるようにコントロールを行い、金利変動リスクの低減を図ります。

*1 デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い（短い）ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく（小さく）なります。

2. 債券部分の平均格付は投資適格を維持することを基本とします。

・投資する公社債の平均信用格付は原則として投資適格（BBB－格）以上を維持^{*2}することを基本とし、信用リスクの低減を図ります。

*2 投資する公社債には、一部短期ハイ・イールド債券を含みます。

3. 部分為替ヘッジを行い、為替リスクの低減を図ります。

・投資する一部の資産クラスについて対円での為替ヘッジを行います。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

■投資リスク

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので、基準価額は変動します。また、為替の変動による影響を受けます。したがって、**投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**本ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。主な変動要因は、**株価変動リスク、信用リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、流動性リスク、カントリー・リスク**などがあります。※上記は基準価額に影響を及ぼす主なリスクであり、リスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

<本ファンドに関する留意事項>

■本資料で示している推計リスク・期待リターンは金融投資理論に基づきあおぞら投信が推計しています（2016年4月末現在）。期待リターンは長期的な視点で推計されたものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、年間最大変動率の目安は、実際の金融市場ではこの目安を超えて変動する可能性があります。■あおぞら・しずくシリーズの推計リスクは、過去データを基に算出します。実際の運用においては、資産配分の見直しや組入れファンドの水準の変化等に伴い変動します。■本資料はファンドの選択についてイメージを掴んでいただくための参考情報を提供するためのものであり、単独で勧誘に用いられるものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■本資料の内容は、作成時点のものであり、将来予告なく変更または中止されることがあります。また本資料の内容は、信頼できると判断した情報等に基づき、あおぞら投信が作成しておりますが、その正確性・完全性・適時性を保証するものではありません。■本資料に掲載されている情報によって、何らかの損害を被った場合でも、あおぞら投信は一切責任を負うものではありません。

■お申込みメモ ※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」および目論見書補完書面をご覧ください。

購入単位	販売会社により異なります。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金 申込不可日	アイルランド証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日
信託期間	原則として無期限（設定日：2016年7月29日）
繰上償還	各ファンドそれぞれについて受益権の総口数が10億口を下回るようになった場合、投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年1月10日および7月10日（ただし、休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合や、分配金が支払われない場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除の適用はありません。原則、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益（法人の場合は個別元本超過額）が課税の対象となります。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用				
購入時手数料	海のしずく	購入価額に、 1.08%（税抜1%）を上限 として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。		
	森のしずく	購入価額に、 2.16%（税抜2%）を上限 として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。		
	星のしずく			
信託財産留保額	なし			
投資者が信託財産で間接的に負担する費用				
運用管理費用 （信託報酬）		海のしずく	森のしずく	星のしずく
	本ファンドの運用管理費用 （信託報酬）：純資産総額に対して	年率0.675%以内 ^{*1} （税抜0.625%以内 ^{*1} ）	年率0.891% （税抜0.825%）	年率0.999% （税抜0.925%）
	投資対象とする投資信託証券の 運用報酬：資産総額に対して	年率0.25%程度 ^{*2}	年率0.302%程度 ^{*2}	年率0.338%程度 ^{*2}
	実質的な負担：純資産総額に対して	年率0.925% （税込）程度^{*3}	年率1.193% （税込）程度^{*3}	年率1.337% （税込）程度^{*3}
<p>*1 委託会社は、先進国の金利情勢等の変化を勘案し、年率0.675%（税抜0.625%）から年率0.351%（税抜0.325%）の範囲内で信託報酬率を変更することができます。</p> <p>*2 投資対象とする投資信託証券を、本ファンドの基本資産配分に基づいて組入れた場合の運用報酬であり、実際の組入れ状況により変動します。</p> <p>*3 本ファンドの信託報酬に本ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬を合わせた、投資者が実質的に負担する信託報酬です。 ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。</p>				
その他の 費用・ 手数料	信託事務 の諸費用	監査費用、印刷費用等、計理業務およびこれに付随する業務に係る費用等、信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.2%を上限として日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。また、投資対象とする投資信託証券において管理報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の資産規模ならびに運用状況等に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する当該管理報酬等の率および総額は事前に表示することができません。		
	売買委託 手数料等	有価証券売買時の売買委託手数料、借入金・立替金の利息、ファンドに関する租税等がファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。		

※上記手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

■委託会社その他の関係法人の概要について

委託会社	あおぞら投信株式会社（信託財産の運用の指図等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2771号 加入協会：一般社団法人投資信託協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（信託財産の保管・管理等を行います。）

■取扱販売会社一覧（本ファンドの販売業務等を行います。）※投資信託説明書（交付目論見書）は、下記の販売会社で入手することができます。

株式会社あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第8号 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社 （2016年8月12日より）	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

<本資料のご利用にあたってのご留意事項等>

■本資料は、あおぞら投信（以下「当社」ということがあります。）が情報提供を目的とした資料であり、何らかの勧誘をするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みに当たっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡しいたしますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■本資料に記載された市況や見通し、数値、図表、意見等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。■投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。